**大日本山林会・木材サミット連絡会合同シンポジウム**

**持続可能な社会に向けて―木材利用と地球環境―**

地球温暖化が二酸化炭素を主とした温室効果ガスに由来することが科学面から明らかにされるようになり、その防止のため、大気中の二酸化炭素を固定して生産される再生可能資源や自然エネルギー等の利用が世界的に注目されるようになっています。

このシンポジウムでは、再生可能な生物資源の中で最も量が多く重要な森林資源を利用することが、地球環境保全に貢献すること、すなわち木を育てる林業と木材利用を実践する木材産業の役割等について、その概要と意義を分かり易く紹介することを主眼にしています。

また、このシンポジウムは、大日本山林会と木材サミット連絡会が、現在、協力して機関紙「山林」に連載している特集「木材利用と地球環境」を基にして企画したものですが、連載終了後には、カラー版の成書や電子版図書を刊行する予定です。参加者の皆様との意見交換により、さらに内容の充実を図ることを予定していますので、是非ご協力をお願い申し上げます。

なお、参加者には、上記連載のコピーを資料として配布する予定です。

幅広い年齢層の皆様と関係者のご参加をお願い致します。

1. 主　催：（公社）大日本山林会、木材サミット連絡会
2. 共　催：（一社）農林水産奨励会
3. 日　時：平成31年1月28日（月）13：00～17:00
4. 会　場：石垣記念ホール（三会堂ビル9F）、東京都港区赤坂1-9-13
5. プログラム
6. 13:00～13:10 開会挨拶　　　　田中　　潔（大日本山林会会長）

1. 講演会

13:10～13:30　気候変動について

恒次　祐子氏（東京大学大学院農学生命科学研究科准教授）

13.30～13:50　日本の森林

久保山裕史氏（森林総合研究所・林業経営・政策研究領域長）

13:50～14:10　環境の優しさで見る木材利用

服部　順昭氏（東京農工大学名誉教授）

14:10～14:30　循環型資源としての木材のカスケード利用

有馬　孝禮氏（東京大学名誉教授）

14:30～14:50　木材利用の特徴と利点

今村　祐嗣氏（京都大学名誉教授）

14:50～15:10　木材産業の概要

富田文一郎氏（筑波大学名誉教授）

15:10～15:30　ゼロエミッションへの道

富田文一郎氏（同上）

～休憩15:30～15:45～

1. 15:45～16:45　意見交換会
2. 16:45～16:55　閉会挨拶
3. 参加費：無料
4. 参加申込：次ページの参加申込書で平成31年1月18日（金）までにE-メールかFAXで申し込

で下さい。定員　120名（先着順）

1. 問合先：大日本山林会事務局　E-mail：sanrinkai@sanrinkai.or.jp　　FAX: 03-3587-2553

大日本山林会事務局　E-mail：sanrinkai@sanrinkai.or.jp　　FAX: 03-3587-2553

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

**参　加　申　込　書**

以下にご記入の上、平成31年1月18日（金）までにE―メールまたはFAXでご返送下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 参　加　者　名 | 所属団体（企業名）・部署・役職等 | 連　絡　先  |
|  |  | E-mail：TEL：FAX： |
|  |  | E-mail：TEL：FAX： |
|  |  | E-mail：TEL：FAX： |
|  |  | E-mail：TEL：FAX： |

（参加者欄が足りない場合は、欄を増やして下さい。）